

外観



開学100周年記念事業の一環としてキャンパスの整備を進めている。2013年に新1号館2期工事が完了した。

アトリウム・カフェテリア



天井から自然光が降り注ぐ5F吹き抜けのアトリウムを中心に、図工室や理科室などを含む講義室を配置。地下1Fに設置したカフェテリアは、カラフルな椅子を採用したポップな空間となっている。

女性トイレ 大便器ブース



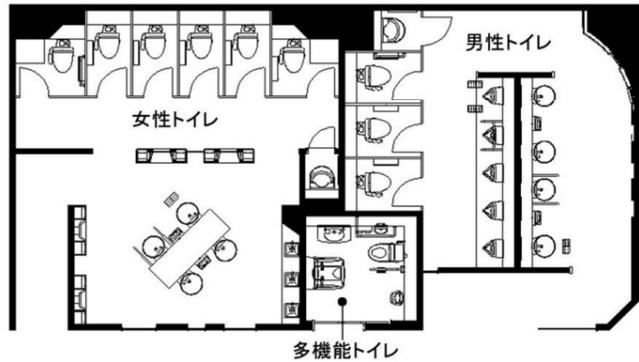
誤って携帯電話を落とした場合などの便器詰まりに備えて、掃除口付便器を採用。男女トイレともすべての大便器に音姫(擬音装置)機能を搭載したウォッシュレットPを設置し、2度流しを防止している。

男性トイレ 洗面コーナー



ダークブラウンの木目調の壁が温かみのある落ち着いた空間を演出している。洗面コーナーには水はねが少ない壁掛自動洗面器を採用。反対側の壁には身だしなみチェックのための全身鏡を設置している。

図面



女性トイレ 洗面コーナー



混雑緩和を図るために洗面コーナーには鏡を設置せず、パウダーコーナーと歯みがきコーナーを別に配置。リラックスできるように、トイレにはBGMが流れている。

男性トイレ 洗面コーナー



床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。小便器の間には傘などが掛けられるフックを取り付けている。

多機能トイレ



車いす使用者のほか、通信教育課程の乳幼児連れの学生にも配慮し、ベビーチェアやベビーシートも完備している。

女性トイレ 歯みがきコーナー



歯みがきコーナーにはベッセル式の手洗器と自動水栓を採用。カウンターは口をすすぎやすい高さに設定している。

女性トイレ パウダーコーナー



パウダーコーナーには、髪形がチェックできるように三面鏡を採用し、コンセントも完備。さらに、身だしなみが確認できる全身鏡の設置や、荷物配慮として手元と足元に荷物棚を設けている。

建築概要

名称	佛教大学 紫野(むらさきの)キャンパス 新1号館(2期)
所在地	京都市北区紫野花ノ坊町96
施主	学校法人佛教教育学園 佛教大学
設計	株式会社佐藤総合計画
施工	鹿島・北和共同企業体
竣工年月	2013年3月

水まわりの特長

<建物の特徴>
 佛教大学の拠点となる紫野キャンパスは、京都の歴史文化をフィールドとした住宅街に立地し、その環境を生かしながら、教育研究の学舎として現在もその使命を果たしている。
 2012年の開学100周年にあわせ、記念事業の一環として2008年からキャンパスの整備を進めている。校舎や教室の「教育環境」の整備とともに、食堂やトイレといった「生活環境」の改善にも力を入れ、「身と心を癒すキャンパス」の実現を目指している。

<トイレの特長>
 トイレをコミュニティー空間として位置づけ、学生がそれぞれ自分の好きなトイレを選ぶように、施設全体にバラエティーに富んだトイレを配置している。今回建設が完了したトイレは、カフェテリアに近い女性トイレに髪形や身だしなみのチェックができるパウダーコーナーや歯みがきコーナーを洗面コーナーとは別に設置し、洗面コーナーが混雑しないように配慮。洗面コーナーをアイランド型とすることで、圧迫感のない空間構成を実現した。